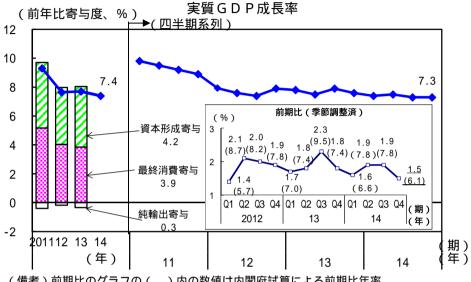
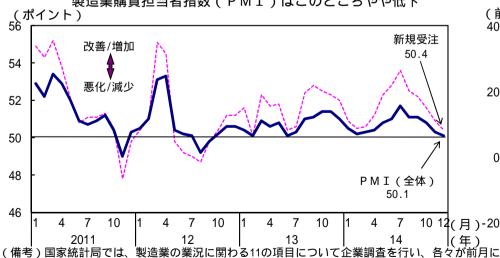
2.アジア地域

中国:

中国では、景気の拡大テンポは緩やかになっている。

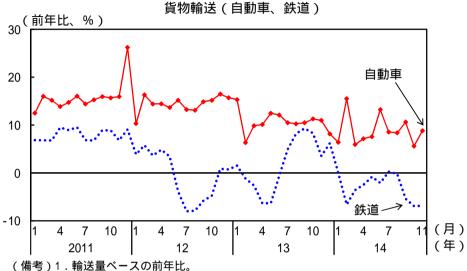


(備考)前期比のグラフの()内の数値は内閣府試算による前期比年率。

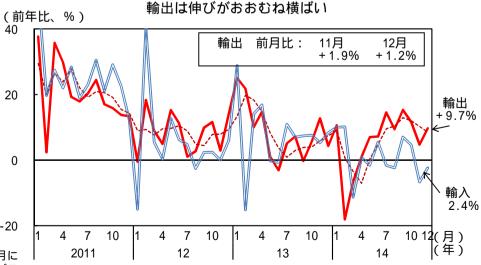


製造業購買担当者指数(PMI)はこのところやや低下

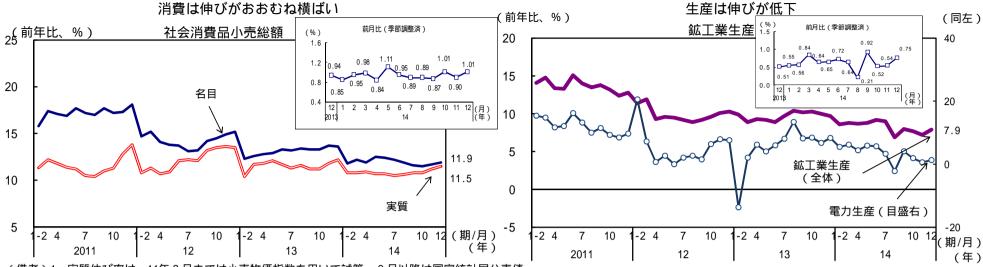
比べてどう変わったのかを集計。全体は、生産高、新規受注、原材料在庫、雇用、サプラ イヤー納期の5つの指標から合成される。50より高ければ、「改善/増加」と回答した企 業の割合が多いことを表す。13年1月より、統計対象社数に変更があったため、厳密には 13年1月前後では接続しない。



2.14年以降の自動車輸送量の伸びについては、当局発表の累計の伸びを元に 当室試算。



(備考)1.輸出入とも実額の前年比(実線)。点線は輸出の3か月移動平均。 2. 春節(旧正月)休暇は、12年1月22~28日、13年2月9~15日、14年1月31日~ 2月6日、15年2月18~24日。



インフラ

関連投資

(目盛右)

11-24

(備考)1.実質伸び率は、11年8月までは小売物価指数を用いて試算。9月以降は国家統計局公表値。 2.中国では、消費刺激策として農村における家電の普及政策(「家電下郷」)の全国展開 (09年2月~13年1月)、省エネ家電購入に対する補助金支給(12年6月~13年5月) 小型の低燃費車購入に対する補助金支給(10年6月~13年9月、11年10月より一部基準 を厳格化)が実施されていた。

乗用車販売台数は伸びがこのところ持ち直し (万台) (前年比、%) (前年比(単月)、%)20 (前年比、%) (万台) 250 20 2,000 60 40 販売台数 販売台数 前年比 (目盛右) 前年比(目盛右) 35 200 15 1,750 30 30 150 10 1.500 25 100 0 20 5 1.250 50 15 12月: 16.0% 1,000 -30 10 4 7 1012() 4 7 10 4 7 10 13 2012 14 (年) 2012 13 14

(備考)春節(旧正月)休暇は、12年1月22~28日、13年2月9~15日、14年1月31日~2月6日。

2011 12 13 (年) (備考)インフラ関連投資は、道路、ダム、鉄道等の投資額を合算したもの。 また、いずれも単月試算値の3か月移動平均の前年比。

不動産開発投資

(目盛右)

固定資産投資(名目)

7 101-24 7 101-24 7 101-24 7 1012

固定資産投資は伸びが鈍化

[同左)(%)

20

15

10

5

0

-10 -5

40 25

30

20

10

0

年初来累計寄与度

固定資産投資全体

15.7

(年初来累計の伸び

その他

インフラ関連

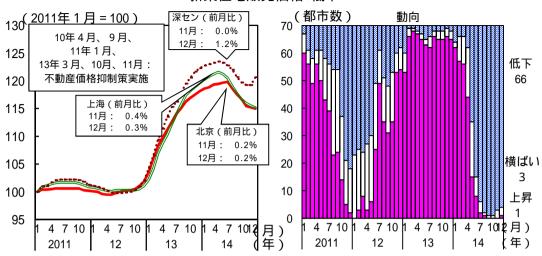
1-24 7 101-24 7 101-24 7 1019期/月)

不動産

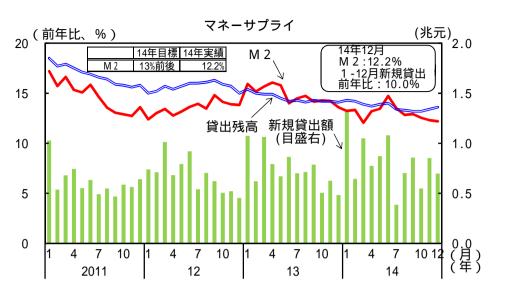
製造業

期/月) 12 13 14

新築住宅販売価格:低下

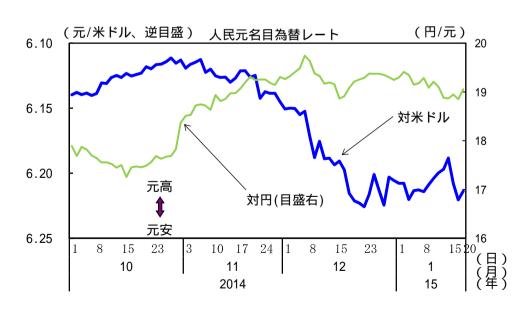


(備考)価格水準は、11年1月の1㎡当たりの価格を100として指数化。動向は、前月比でプラス の都市を「上昇」、±0.0%の都市を「横ばい」、マイナスの都市を「低下」とした。



(前年比、%) 消費者物価上昇率はやや低下 15 10 消費者物価上昇率 (食品) 消費者物価上昇率 (総合) 5 1.5 (総合) 0 消費者物価上昇率 生産者物価上昇率 -5 10 12(月) 4 7 10 10 7 10 7 (年) 2011 12 13 14

(備考)コア消費者物価は、総合から食品とエネルギーを除いたもの。



その他アジア(韓国、台湾、インドネシア、タイ、インド):

韓国では、景気は持ち直しの動きが緩やかになっている。台湾では、景気は緩やかに回復している。インドネシアでは、景気の拡大テンポは鈍化している。 タイでは、景気は弱い動きとなっている。インドでは、景気は持ち直しの動きがみられる。

